

第38回 岡山戦災の記録と写真展

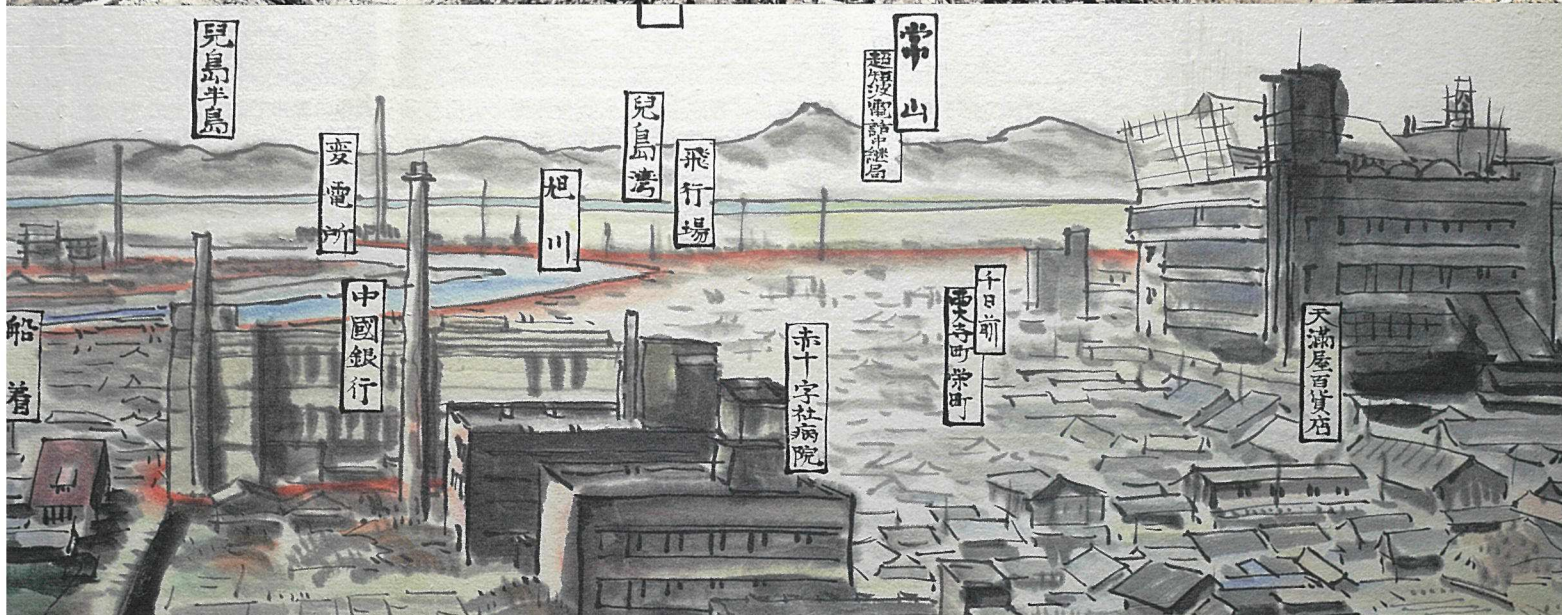
— つないでいく記録と記憶 —

平成27年6月12日(金)～7月5日(日)

休館日：毎週月曜日、ただし6月29日は開館



岡山空襲後の岡山市街地(部分) 坂本一夫 1945年(昭和20) 個人所蔵



「戦災復興岡山市の図」(部分) 佐藤重夫 1947年(昭和22) 岡山市立中央図書館所蔵

開館時間：午前10時～午後6時 入館は午後5時30分まで

会場：岡山シティミュージアム 4階展示室 TEL 086-898-3000

岡山空襲展示室(5階)では、戦中・終戦直後の岡山の人々の様子についてご紹介します。

入場無料

記念講演会

日本本土空襲の中の岡山空襲

講師 工藤 洋三氏

日時 平成27年6月13日(土) 午後1時30分～3時

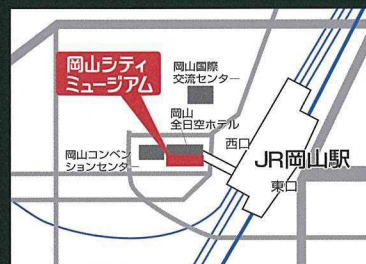
会場 岡山シティミュージアム 4階 講義室

定員 80名(先着順) 聴講無料

展示解説

会期中の金・土・日曜日の午後2時から1時間程度、展示室内で学芸員による展示解説を行います。

*6月13日(土)は、午前11時から



JR岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム

EXHIBITION ROOM OF THE OKAYAMA AIR RAIDS 岡山空襲展示室

TEL 086-253-7070

主催：岡山市 共催：岡山市教育委員会

第38回 岡山戦災の記録と写真展 - つないでいく記録と記憶 -

岡山空襲が行われた1945年(昭和20)6月29日から70年が経過し、1978年(昭和53)に始まった「岡山戦災の記録と写真展」も今年で38回目となりました。

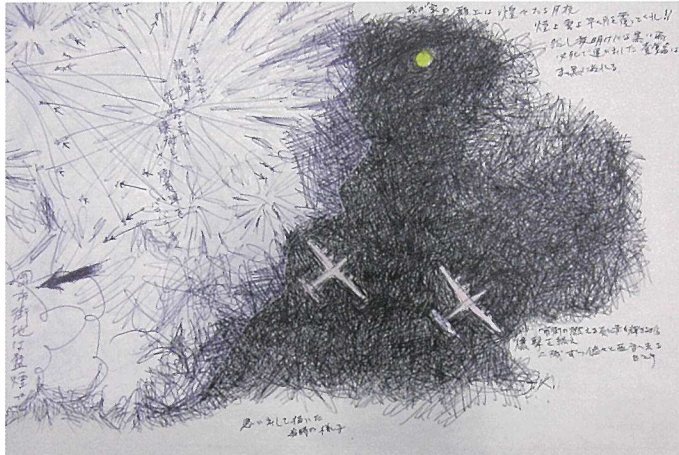
私たちの暮らす岡山市は、かつて空襲により一面の焦土と化してしまいましたが、その戦災遺跡は年を追うごとに少なくなっています。今の平和な暮らしは、岡山の復興を望む多くの人々の努力によって得られたものです。現在の私たちに与えられた使命は、過去の「戦争の悲惨さ」を後世へ伝え、「平和の尊さ」を未来へつないでいくことではないでしょうか。

70年の時が、戦災の記憶さえも急速に過去の歴史へと変えつつある中で岡山空襲当時の様子やその困難に市民の方々がどのように立ち向かい、復興を遂げていったのか、その貴重な記録を当時の記憶とともにご覧いただけます。

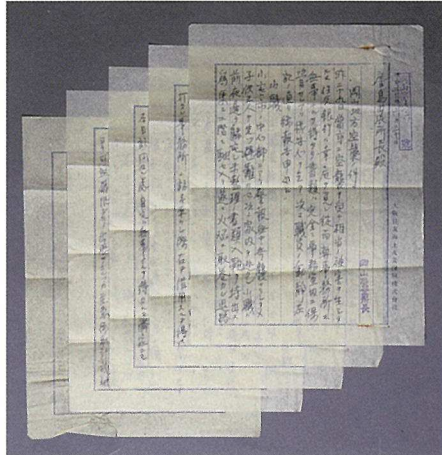
岡山空襲について

1944年(昭和19)から1945年(昭和20)にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年(昭和20)6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人*をこえる死者が出ました。

(*2000人をこえるという説もあります。)



岡山空襲の様子を思い出して描かれたスケッチ 金谷 哲郎 2015年



空襲翌日に作成された大阪住友海上火災保険株式会社岡山支所長の報告文書



戦後の闇市で購入された飛行服



「備前焼見物」佐藤 一章 1945年(昭和20)11月 岡山市立中央図書館所蔵



「お城付近を望む」佐藤 一章 1945年(昭和20) 岡山市立中央図書館所蔵

記念講演会「日本本土空襲の中の岡山空襲」 講師 工藤 洋三 氏

工藤洋三さんは、第二次世界大戦中の日本空襲について、米軍側の視点から研究してこられました。岡山県下の空襲に関しても基本的な資料だけにとどまらず、米軍が記録した写真や電文、動画などについても研究されています。近年の研究成果として、倉敷空襲に関する予備的な作戦計画書(フラグプラン)の発見があげられます。こうした新資料の研究によって、終戦時までには空襲されなかった都市への攻撃計画も明らかになってきています。

今回の講演では、このような米軍資料などの分析から、日本本土空襲が進められていく中で岡山空襲がどのように行われていったかについて、最新の研究成果に基づきお話しいたします。

展示解説

会期中の金・土・日曜日の午後2時から1時間程度、展示室内で学芸員による展示解説を行います。

*6月13日(土)は、午前11時から



倉敷空襲のために作成されたリト・モザイク (航空写真を合成、印刷したもの。)